

～世代間交流を通じた干しいも栽培・加工を生きがいに～

埼玉県皆野町

都市的地域・中間農業地域

取組主体：
公益社団法人皆野町シルバー人材センター

取組開始時期：平成26年～

解消面積：1.37ha(平成29年7月時点)

導入作物：さつまいも

1. 取組のきっかけ・経緯

当町は中山間地域に位置し、特に農業従事者の高齢化や後継者不足が著しく、農産物の栽培面積・生産量ともに大きく減少している。

また、荒廃農地が年々増大しており、解消に向けた取組が急務となっていた。

取組主体は、平成18年に設立された構成員数212人の公益社団法人である。

平成26年度に、構成員32名が中心となり、農との共生田園都市豊かな暮らし満喫事業等を活用して、かつて地域の基幹作物であったさつまいもの栽培や切り干しいもの加工に取り組んだ。



2. 取組内容

取組主体は、平成26年度から農業委員会の協力のもとで、荒廃農地等を再生利用してさつまいも栽培に取組み、平成28年5月に1.27haの利用権を設定した。

取組当初から地元の幼稚園児を対象に、さつまいもの作付け・収穫体験を始め、地域の高齢者等を交えた「焼き芋大会」を開催して世代間の交流を図るなど、地域の活性化・高齢者等の生きがい発揮に貢献している。

また、さつまいもの加工事業にも取り組み、農閑期の農家等の所得増進を目的に「切り干し芋」の地域ブランド化を図っている。

このような取組を受け、農業委員会では荒廃農地を有する農家等に対して、取組主体へ耕うん作業委託やさつまいもを自ら栽培することを推進し、農地の有効活用を進めている。

3. 今後の課題・予定など

地域活性化のため、「さつまいも(紅はるか)」を当町の特産品と位置づけ、料理や加工品の開発とその生産拡大を意識しつつ、「切り干し芋」のブランド化を目指し、町おこしの一翼を担う。

4. 活用した補助事業

(県)農との共生田園都市豊かな暮らし満喫事業

(補助内容：H26～H28年度、施設等整備費、機械器具等購入費等)

(県)シルバー人材センター先進事業

(補助内容：H28年度、機械器具等購入費、報償費等)

(町)切り干し芋作り事業

(補助内容：H26～H27年度、施設等整備費、機械器具等購入費等)



再生前



再生後